

## 既存の大型製造機を最大限活用したい！ 効率的に給紙できる装置を導入し、生産性アップ！



### 株式会社スズキ紙器

◎ 新潟県新潟市南区和泉706-1

☎ 025-373-1151

🌐 <http://www.suzuki-shiki.co.jp/>

■ パルプ・紙・紙加工品製造業

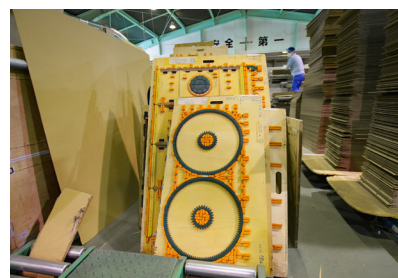


会社WEBサイト

#### 私たちについて

#### 短納期に力を入れる 段ボール製造販売業者

1955年、創業。以来、新潟市南区を中心に段ボールケースの製造販売を続けてきた。南区は野菜や果物の生産が多い地域。果物の出荷シーズンなどは、傷の有無や大きさで果物を分ける選果作業など急に段ボールが必要になることも多いため、段ボール業者としては臨機応変にスピード感を持って対応することが求められる。その点、スズキ紙器は最短で翌日納品をするなど、ニーズに合わせた対応が可能だ。また、梱包する品物や輸送・保管条件、予算などを伺った上で、オーダーメイドで品物に合わせた提案も行う。常に顧客の要望に最大限対応するように心がけてきた。



#### きっかけ

#### 大型製造機の 生産効率アップを目指して

近年、インターネット通販が普及したことで、段ボールケース製造販売業者も多品種小ロット、短納期を求められるようになった。スズキ紙器は、特にニーズの高まっていた複雑形状のダンボール加工に対応するため、「抜き型」を上下運動させることで複雑な形状でも加工できる、平盤ダイカッタ式の機械を導入。その後、1300mm×2000mm



まで加工できる大型の製造機を導入し、縦型の花用段ボールなど大型製品の複雑形状加工も可能となった。しかし、大型製品は材料も大きく、重量もある。給紙作業を人力で行っていたため、加工機械の生産可能数を下回る量しか加工ができず、効率化のボトルネックになっていた。

また、女性従業員も増えていることから、性別関係なく給紙作業ができる環境整備を急ぐ必要があった。

なく行うことを目指し、ものづくり補助金を使って大型自動平盤ダイカッタに装着する「反転自動給紙装置」を導入。これまで手動で行っていた給紙作業が、ローラーコンベアで大型自動平盤ダイカッタに自動で給紙されるようになった。そのおかげで、加工最大数の毎分60枚の生産が可能となった。生産力が向上したことで、納期は半日短縮。急な依頼でも短い時間で納品できる体制が整った。

また、1枚あたり約2kgの材料を10枚ずつ持ち上げて給紙していた作業が、フォークリフトで指定の位置に運ぶだけで給紙できるようになったので、女性オペレーターでも作業できるように。工場内の人員配置も自由度が増し、効率化を図れた。



#### 取組の内容

#### 重労働がなくなり、 男女問わず作業可能に

複雑形状の段ボール加工が可能な機械の生産性向上と、給紙作業を性別に関係



#### その後の展開

#### 設備投資と営業努力で 過去最高益を達成！

給紙装置を導入し、生産性が向上したスズキ紙器。設備が物を言う段ボール業界で、大型自動平盤ダイカッタと反転自動給紙装置を導入したことで他社と差別化を図ることができた。果物や青果物が多い土地柄、どうしても忙しい時期が重なってしまうが、上記2点の機械を導入したことで残業時間も短縮。設備投資と、顧客との細かいコミュニケーションを徹底し、2020年度は過去最高益となった。

さらに今後は、一般向けのインターネット販売も行っていきたいという。個人で商品を販売できる現在だからこそ、既存事業にとらわれず、新たな商機も模索していく。

#### message

最も意識していることは、お客様としっかりコミュニケーションを図ること。その上で、急な依頼や短納期での仕事にも対応できるような体制を整えてきました。

営業部 鈴木 皓旦氏

